

サーキュラー エコノミーが創造する ビジネスの可能性



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



Eco
Tech
Fair
kawasaki

第18回

川崎国際環境技術展

The 18th Kawasaki International Eco-Tech Fair

実施報告書

場所 カルツツかわさき 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4

日時 2025.11.12 水 / 11.13 木 10:00▶17:00

主催:川崎国際環境技術展実行委員会

川崎市／川崎商工会議所／経済産業省 関東経済産業局／(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構／(独)日本貿易振興機構／(国研)産業技術総合研究所／(独)国際協力機構

(独)中小企業基盤整備機構／(独)環境再生保全機構／慶應義塾大学／明治大学／専修大学／国際連合工業開発機関／(地独)神奈川県立産業技術総合研究所

(特非)産業・環境創造リエゾンセンター／(一財)日本環境衛生センター／川崎市地球温暖化防止活動推進センター／川崎市工業団体連合会／川崎工業振興倶楽部／(公財)川崎市産業振興財団

Topic サーキュラーエコノミーをテーマとした展示会を実施しました！

今回の川崎国際環境技術展では、「サーキュラーエコノミーが創造するビジネスの可能性」をテーマに、**サーキュラーエコノミーに関連する様々な企画を起点として**、ビジネスマッチングの創出を図りました。

サーキュラーエコノミーに関連した各種企画



特別企画「CYCLE」

(ホスト企業・学生・地域企業による新事業創出プログラム)

▶ P.12

特別展示

(未利用資材や資源循環に関する技術・サービスの展示)

▶ P.14

サーキュラーエコノミーに関連したテーマによる講演・イベント



基調講演

サーキュラーエコノミーの具現化に向けたCLOMAの活動
～官民連携でプラスチック資源循環に挑む～

▶ P.9

特別講演

すべての産業がバイオ化する！
4,500兆円市場で勝ち抜くための事業戦略とは

▶ P.9

サーキュラーエコノミーを軸としたマッチング支援



デレゲート・プログラム

(諸外国政府関係者（サーキュラーエコノミー関連）招へい) (出展者（サーキュラーエコノミー関連等）製品・サービス紹介)

▶ P.15

出展者インタビュー

▶ P.19

実施を通じた成果

会期全体で**794**件のビジネスマッチングを創出し、**60**件の商談が成立しました。

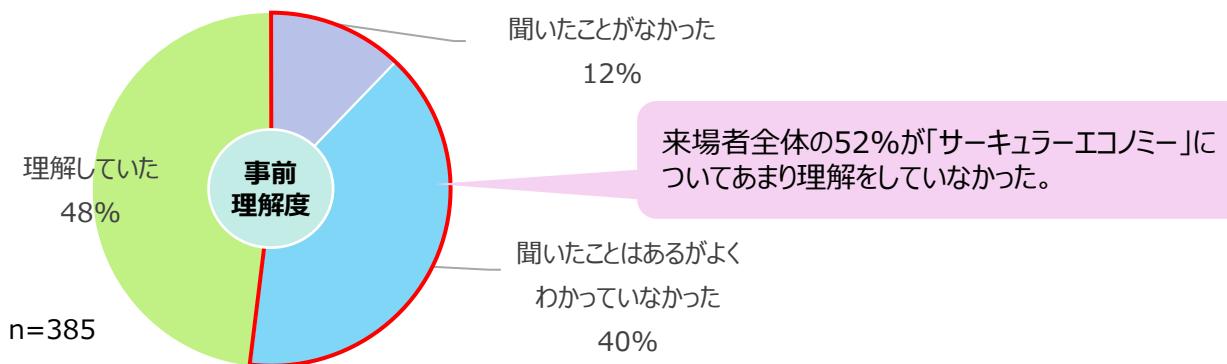
▶ P.17



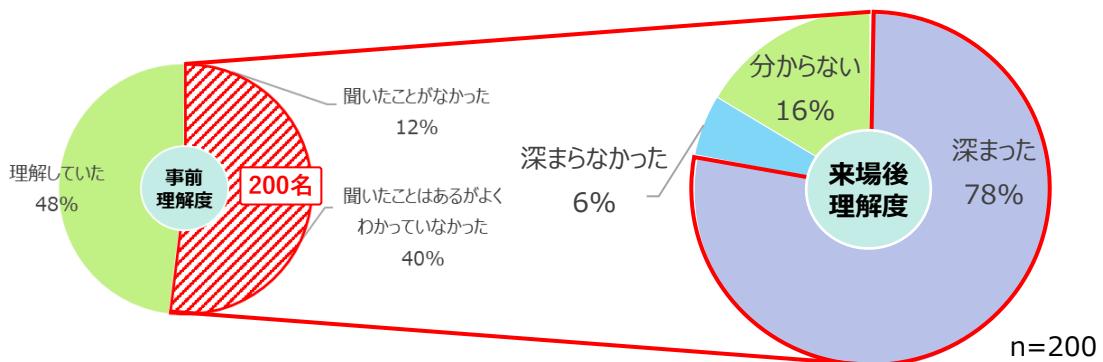
サーキュラーエコノミーの理解進行について

メインステージでの講演や特別企画等の出展を通して、元々サーキュラーエコノミーについて聞き馴染みのなかった来場者の理解が、深まりました。

「来場前」のサーキュラーエコノミーの理解度（来場者アンケートより）



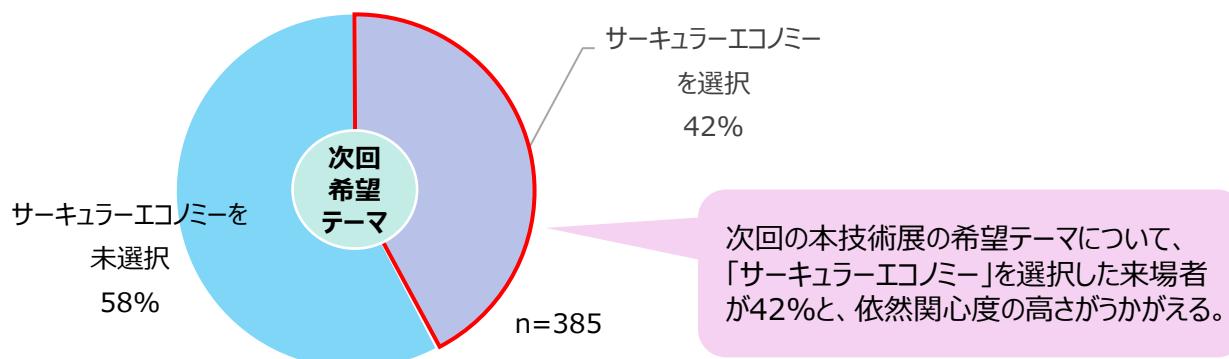
「来場後」のサーキュラーエコノミーへの理解度（来場者アンケートより）



「来場前」のサーキュラーエコノミーの理解度について、「聞いたことはあるがよくわかっていないかった」、「聞いたことがなかった」と答えた来場者の中、約8割が「来場後」に理解が深まったと回答した。

次回の本技術展の希望テーマ（来場者アンケートより）

※複数選択可





開催主旨

国内外の環境問題に即応する環境技術から地球環境問題を解決する最先端の環境技術まで幅広く展示を行い、川崎から国内外へ発信するとともに、出展企業・団体と国内外の企業等とのビジネスマッチングの場を提供することを目的として、「川崎国際環境技術展」を開催しています。

目次

開催概要	4
会場風景	5
出展企業・団体一覧	6
展示会場レイアウト	7
講演・セミナーなど	8
基調講演・特別講演	9
特別セッション	10
その他イベント・各種企画	11
特別企画「CYCLE」	12
市立高等学校との連携	13
特別展示	14
国際関連企画	15
ビジネスマッチングの成果	17
出展者へのサポート	18
出展者インタビュー	19
出展者アンケート	21
来場者アンケート	23
出展者・来場者の声	26
広報活動	27
各種制作物	30



開催概要

名称	第18回川崎国際環境技術展 The 18th Kawasaki International Eco-Tech Fair
テーマ	サーキュラーエコノミーが創造するビジネスの可能性
会期	2025年11月12日（水）・11月13日（木） 10:00～17:00
会場	カルツカワasaki 神奈川県川崎市川崎区富士見1-1-4
主催	川崎国際環境技術展実行委員会 川崎市／川崎商工会議所／経済産業省 関東経済産業局／ (国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構／(独)日本貿易振興機構／ (国研)産業技術総合研究所／(独)国際協力機構／(独)中小企業基盤整備機構／ (独)環境再生保全機構／慶應義塾大学／明治大学／専修大学／国際連合工業開発機関／ (地独)神奈川県立産業技術総合研究所／(特非)産業・環境創造リエゾンセンター／ (一財)日本環境衛生センター／川崎市地球温暖化防止活動推進センター／川崎市工業団体連合会／ 川崎工業振興倶楽部／(公財)川崎市産業振興財団
協賛	【ゴールドスポンサー】 川崎商工会議所、川崎信用金庫、富士通Japan株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、 エリーパワー株式会社 【シルバースポンサー】 株式会社クレハ環境、味の素株式会社、神奈川トヨタ自動車株式会社、川崎市信用保証協会、 株式会社横浜銀行、東京ガス株式会社、JFEグループ、トキコシステムソリューションズ株式会社、 株式会社三菱UFJ銀行 【ブロンズスポンサー】 株式会社光和、株式会社カツマタ

会期後、ご協賛の(株)三菱UFJ銀行様から、趣旨に賛同いただき、ご寄附をいただきました！！

来場者数

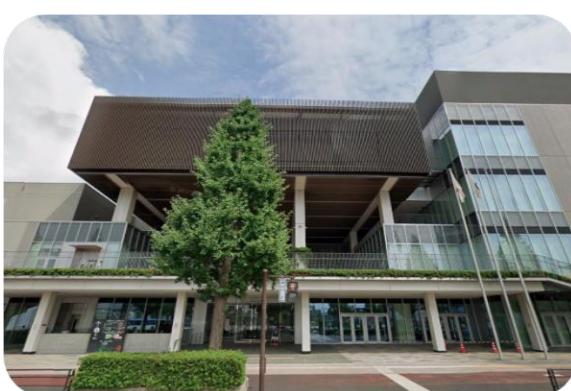
日付	天気	来場者数
11月12日（水）	晴	約2,300名
11月13日（木）	曇り時々雨	約2,100名
合計		約4,400名

参考：第17回 約5,050名

出展者数

出展者数（小間数）	(内) 市内中小企業	(内) 初出展
120団体（162小間）	53団体 (全体の44%)	34団体 (全体の28%)

参考：第17回：123団体(167小間) 53団体 41団体)





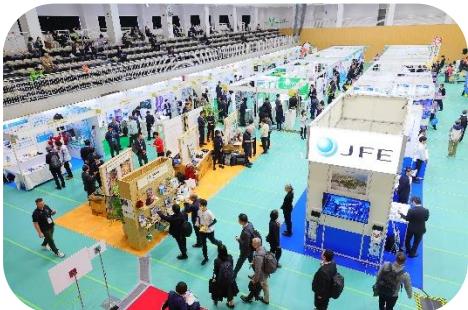
会場風景



▲ 展示会場の様子①



▲ 世界初の量産電気小型トラックを屋外展示



▲ 展示会場の様子②



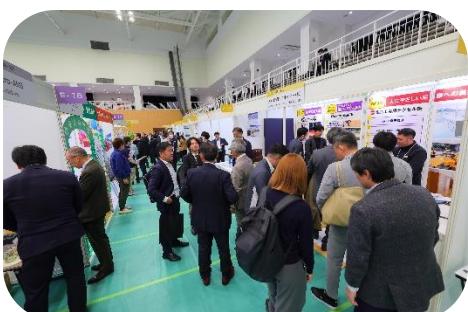
▲ 水素関連企業へ水素ディスペンサーを紹介



▲ オープニングセレモニーでのテープカット



▲ 川崎市内企業の表彰式



▲ 展示ブース前でのやりとりの様子



▲ デジタルサイネージの会場マップ



▲ 大会議室での高校生への環境出前授業



▲ アップサイクルした割り箸で作成した机

出展企業・団体一覧 (ブース番号順)

A	資源リサイクル	D	省エネ・エネルギー・マネジメント
株式会社シー・アクト	A-01	日本ゼンリス株式会社	D-01
株式会社 J サーキュラーシステム	A-02	東京メータ株式会社	D-02
日本新聞インキ株式会社	A-03	株式会社ショウエイ	D-03
株式会社クレハ環境	A-04	ウイングアーク 1 s t 株式会社	D-04
社会福祉法人同愛会	A-05	有限会社りかでん	D-05
一般社団法人川崎ゼロ・エミッション工業団地	A-06	株式会社Nobest	D-06
DELE株式会社	A-07	株式会社エニマス	D-07
学校法人工学院大学	A-08	川崎未来エナジー株式会社	D-08
株式会社カツマタ	A-09		
レコテック株式会社	A-10		
株式会社和田商店/オイラー株式会社	A-11		
株式会社アリスミ 2 1	A-12		
AC Biode株式会社	A-13		
株式会社流機エンジニアリング	A-14		
株式会社シアノロジー	A-15		
株式会社光洲産業	A-16		
株式会社レゾナック 川崎事業所	A-17		
特別展示	A-18		
サイバー株式会社			
株式会社JEPLAN			
株式会社SKLO			
株式会社ちとせ研究所			
ChopValue Manufacturing			
Japan株式会社			
株式会社ノンバーバル			
株式会社ベッカー精工			
B	エコソリューション/SDGs	E	ものづくり・A・I IoT
株式会社kinoiro	B-01	株式会社ゼネラル（旧社名：株式会社富士通ゼネラル）	E-01
株式会社Kライナーサービス	B-02	岡村建興株式会社	E-02
メディサインス・エスボア株式会社	B-03	生物系特定産業技術研究支援センター	E-03
株式会社ヘミセルロース	B-04	川崎 C N ブラント等推進協議会	E-04
大和ハウス工業株式会社	B-05	協同組合高津工友会（タカツクラフト）	E-05
アクアインテック株式会社	B-06	エレックス工業株式会社	E-06
株式会社日本海水	B-07	株式会社アラミック・専修大学	E-07
エコサイクル株式会社	B-08	J F E プラントエンジ株式会社	E-08
日本乳化剤株式会社	B-09	JFEグループ	E-09
株式会社ブランテックス	B-10	codeless technology株式会社	E-10
株式会社近藤工芸	B-11	和光電研株式会社	E-11
東京科学大学	B-12	株式会社重森産業社	E-12
かわさき水ビジネスネットワーク	B-13	川崎ものづくりブランド推進協議会	E-13
株式会社インフォマティクス		株式会社オスマ	
日本ベーシック株式会社		佐野デザイン事務所	
株式会社和興計測		有限会社シヤ	
川崎市ビルメンテナンス業協同組合	B-14	信号器材株式会社	
株式会社ニッケン石橋	B-15	株式会社ゼンク	
株式会社アクト	B-16	有限会社つかさサンブル	
株式会社 I M U · G E N O S	B-17	株式会社データーブロセラサービス	
株式会社ユニオン産業	B-18	株式会社ピットロード	
三菱ふそうトラック・バス株式会社	B-19	株式会社マイルストーンジャパン	
C	エネルギー（再エネ・水素等）	F	支援機関・公的機関等
株式会社島津製作所	C-01	株式会社マキナエンジニアリング	
川崎重工業株式会社	C-02	山勝電子工業株式会社	
三菱化工機株式会社	C-03	和光産業株式会社	
三浦工業株式会社	C-04	小田急電鉄株式会社	E-14
株式会社荏原製作所	C-05	アロニクス株式会社	E-15
エリーパワー株式会社	C-06	株式会社micro-AMS	E-16
フクビ化学工業株式会社	C-07	有限会社ケー・エス・ピー	E-17
ニイガタ株式会社	C-08		
株式会社エヌアグリ	C-09		
株式会社山王	C-10		
合同会社加速流グリーンパワー研究所	C-11		
eneflia株式会社	C-12		
川崎市新エネルギー振興協会	C-13		
株式会社シーエスデー研究所	C-14		
株式会社イスズ	C-15		
株式会社エノア	C-16		
株式会社協和商会	C-17		
ヤマト運輸株式会社	C-18		
トキコシステムソリューションズ株式会社	C-19		

展示会場レイアウト

第18回 川崎国際環境技術展
The 18th Kawasaki International Eco-Tech Fair



1F 展示会場



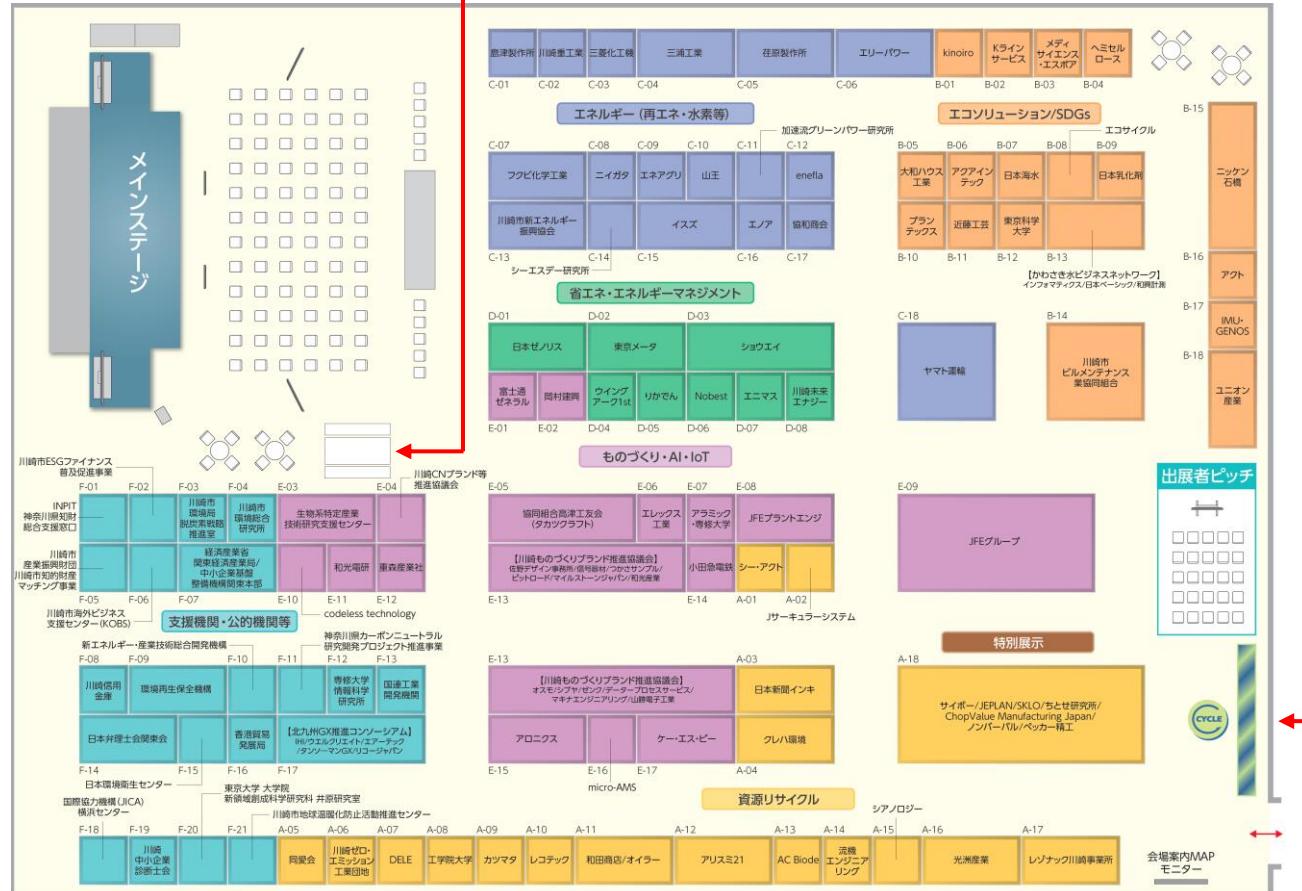
ChopValue Japanによって、廃棄された箸からアップサイクルされた机と椅子



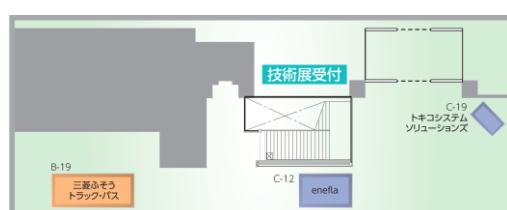
カテゴリーと小間番号が会場内でも分かるように、垂直看板を採用



学生企画「CYCLE」の紹介パネルを展示



屋外展示



全体マップ



飲食販売

市内企業「コネクトアラウンド」による地元川崎産の野菜等を利用したお弁当などを2階昼食会場で販売しました。



とんかつ和幸



崎陽軒



コネクトアラウンド



FUN EAT MAKERS
武蔵新城

市内企業ダンウェイのサービスを活用し、知的障害のある方が業務を可視化して野菜の生産・加工・出荷などを行っている工場で作った野菜を提供

講演・セミナーなど

11月12日（水）

第22回川崎国際エコビジネスフォーラム

(10:10~12:10 大会議室①)

【第1部】「持続可能な未来に向けて」

【講師】

川崎市国際環境施策参与／東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 教授

【第2部】「気候変動に対応して市民のウェルビーイングを実現するには －日本や海外の事例から考える－」

【コーディネーター】

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)

【パネリスト】

テキサス大学オースティン校 LBJ公共政策大学院 教授

テキサス大学オースティン校 LBJ公共政策大学院 修士課程

テキサス大学オースティン校 LBJ公共政策大学院及びコックレル工学スクール 修士課程

フランス気候・環境科学研究所(LSCE)国立研究開発法人国立環境研究所(NIES)

シニアリサーチャー



川崎CNブランド2025認定式

(14:20~15:10 メインステージ)

【認定企業】

株式会社SKLO

株式会社クリハ環境 ウェステックかながわ

出光興産株式会社

出光ルブテクノ株式会社 京浜事業所

花王株式会社 川崎事業場

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所

株式会社東芝 セキュリティ・自動化システム事業部 小向工場

株式会社 東芝 防衛・電波システム事業部 小向工場

東芝電波テクノロジー株式会社

日崎工業株式会社

株式会社YAMANAKA 川崎工場



第22回川崎ものづくりブランド認定式

(15:40~16:00 メインステージ)

【認定企業】

有限会社つかさサンブル

株式会社ピットロード

株式会社マイルストーンジャパン



会社を守り、取引を伸ばす！ 中小企業のためのBCPセミナー

(10:30~11:50 大会議室①)

【第1部】「BCPの概念、基礎、 事業承継視点でのBCP」

【講師】株式会社サクシード

【第2部】「BCPの事例」

【講師】リカザイ株式会社



「川崎カーボンニュートラルコンビナート構想」が描く 2050年の将来像

(13:10~14:10 メインステージ)

【講師】

川崎市 臨海部国際戦略本部 成長戦略推進部

担当課長



かわさき知的財産シンポジウム in 川崎国際環境技術展

(14:00~17:00 メインステージ)

川崎市知財マッチング成約事例のご紹介

【講師】

株式会社ゼンク 代表取締役

(公財) 川崎市産業振興財団 知的財産コーディネーター



大企業・ベンチャー企業による開放特許や技術等の紹介

【登壇企業】

NTT株式会社

日本アビオニクス株式会社

株式会社イトーキ

株式会社Zrek

中小企業のための「サプライチェーン全体で取り組む 脱炭素経営」セミナー

(14:30~15:30 メインステージ)

【第1部】「サプライチェーン全体での脱炭素化」

【講師】東京大学大学院 情報学環 教授

【第2部】「花王川崎工場のサプライチェーン全体での脱炭素」

【講師】花王株式会社 川崎工場 工場長

まちを緑でつなぐ共創プラットフォーム — midori-baが描く地域循環経済

(15:50~16:50 メインステージ)

共創コミュニティmidori-baが描く川崎の未来

【講師】NPO法人共創コミュニティmidori-ba／合同会社百暮 理事長

共創の世界

【講師】NPO法人共創コミュニティmidori-ba／株式会社ワイエムピー顧問

橋公園の事例紹介

【講師】NPO法人共創コミュニティmidori-ba／あそびのわどわ 理事

川崎市がめざすまちの姿

【講師】川崎市役所建設緑政局グリーンコミュニティ推進室 担当課長

【司会】NPO法人共創コミュニティmidori-ba／かわさき生活クラブ生協 副理事長

基調講演

<11月12日（水）実施>

10:20～11:00
メインステージ

サーキュラーエコノミーの具現化に向けたCLOMAの活動 ～官民連携でプラスチック資源循環に挑む～

クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会長
(花王株式会社 特別顧問)

澤田 道隆 氏

＜講演内容＞

講演では、ESGを根幹に据えた経営の重要性に触れられるとともに、サーキュラーエコノミーに向けた社会システム、ビジネスモデルの変革は世界的な潮流であることを説明いただきました。

また、海洋プラスチックを含むプラスチックごみ問題の解決に向けたCLOMAの取組として、官民連携によるプラスチック資源循環のジャパンモデル構築を目指し、中期目標Circular30 by30を掲げて活動していることや、川崎市や臨海部企業との連携強化、学校教育を通じた普及啓発についても言及され、世界に誇れる先進モデルとして発信していくことを目指すという展望が語されました。



特別講演

<11月12日（水）実施>

13:00～14:00
メインステージ

すべての産業がバイオ化する！ 4,500兆円市場で勝ち抜くための事業戦略とは

ちとせグループ
Founder&Chief Executive Officer

藤田 朋宏 氏

＜講演内容＞

「すべての産業がバイオ化する」をテーマに、石油起点の一極集中型社会からバイオマス起点の分散型社会への転換を予見し、バリューチェーンやインフラ、広告のあり方が変わり、ビジネスとして大きな可能性があることを示されました。

また、藻類を活用した光合成による物質生産や廃棄物を資源化する循環型モデルの推進、産業横断で藻類産業を構築する「MATSURI」の活動など、持続可能な社会を目指すちとせグループの取組が語られるとともに、事業化においては「営みに寄与すること」「お金が回ること」を軸とし、仮説と実行を繰り返す柔軟な姿勢と科学的事実を基盤に挑戦し続ける重要性を述べされました。



ポケトークカンファレンス

海外からの来場者、関係者を意識して、ポケトークカンファレンスを「基調講演」、「特別講演」に導入しました。講演者の日本語音声をすぐに英語字幕に変換し、メインステージ客席の中段に設置した中継モニターへ表示させました。今回の導入を踏まえ、今後の利用場面や活用方法を広げていきたいと思います。



特別セッション <11月13日（木）実施>

10:30～12:30
メインステージ

川崎から始まる持続可能な未来 ～共創が生み出す無限の可能性～

CASE1

割り箸×スポーツの力で広げるサステナブル・ムーブメント

ChopValue Manufacturing Japan 株式会社
×
株式会社川崎フロンターレ

使用済み割り箸の現状やアップサイクル製品例、サッカー観戦時における分別回収の取組について紹介いただきました。また、スポーツチームとの連携意義やパートナーシップの重要性についてお話しいただきました。



CASE2

「さよなら 丸の内TOEIプロジェクト」を通じた
アップサイクルの取組

株式会社SKLO
×
東映株式会社

2025年7月に閉館した東映の直営映画館「丸の内TOEI」の備品・資材をアップサイクルし、クラウドファンディングの返礼品として活用する、“思い出を未来に繋ぐ”プロジェクトの取組について紹介いただきました。



CASE3

官民連携による再エネ電力の地産地消に向けて

川崎未来エナジー株式会社
×
ヤマト運輸株式会社

ごみの焼却過程で生まれる電力の活用による高津千年営業所での“再エネ地産地消モデル”的取組について紹介いただきました。また、市民等への取組の発信力強化などの共創のメリットについても言及がありました。



CASE4

建築資材ロスの可視化とリユースによる
都市型循環モデルの実証

株式会社光洲産業
×
HUB&STOCK株式会社

年間40万トンもの建築資材が新品未使用のまま廃棄される“建築資材ロス問題”的現状や課題について説明いただくとともに、都市型循環モデルの構築に向けた川崎市での実証の展望について紹介いただきました。



その他イベント・各種企画

◎ 延べ参加人数 ◎実施出展者数
260名 **16者**

出展者ピッチ

会期2日間を通じて、展示会場内スペースで計16の出展者によるピッチ（プレゼンテーション）を実施しました。各回の終了後は名刺交換を実施し、マッチングの創出につなげました。

11月12日（水）

10:30	歴史から学ぶ脱炭素社会 株式会社エニマス
11:00	途上国のSDGs推進に向けて～JICAの民間連携事業 独立行政法人国際協力機構（JICA）横浜センター
11:30	北九州GX推進コンソーシアム企業共創事例 北九州GX推進コンソーシアム
13:00	Hydro-Power Hub 水素で実現するスマートエネルギー 株式会社エノア
13:30	混合廃プラや有機廃棄物を200-280°Cにてモノマー、水素等に分解 AC Biode株式会社
14:00	原位置浄化による低コスト・低環境負荷の土壌地下水汚染対策 エコサイクル株式会社
14:30	小田急WOOMS 廃棄物・資源収集のDX事業と川崎市との協働 小田急電鉄株式会社
15:00	サーキュラーエコノミーを推進する、データを活用した エリア単位での資源回収最適化について レコテック株式会社
15:30	廃棄物発電施設におけるカーボンニュートラルの取組 株式会社クレハ環境
16:00	デザインで解決！エコ・サステナブルに配慮したモノづくり 佐野デザイン事務所

11月13日（木）

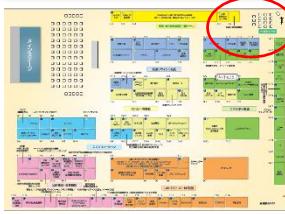
10:30	かわさきから世界へ！ かわさき水ビジネスネットワークの取組と会員の製品紹介 かわさき水ビジネスネットワーク
11:00	環境対策に貢献するアミン製品～CO2吸収技術～ 日本乳化剤株式会社
13:00	未利用資源を活用した新たな資源循環拠点の構築に向けて 株式会社ちとせ研究所
13:30	それでも、あなたは捨てですか カーペット購入前にリユースのご検討を 川崎市ビルメンテナンス業協同組合
14:00	タイ/マレーシアの投資環境と投資機会・日本技術への期待 国連工業開発機関 [ASEAN政府関係者] タイ王国 タイ政府東部経済回廊事務局（EECO） マレーシア セベランブライ市議会 技術・政策コンプライアンス局 マレーシア セベランブライ市議会 都市サービス担当局
15:00	中小企業スタートアップ向け再生可能エネルギー研究開発支援事業のご紹介 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 [発表企業] 株式会社カワタ 株式会社Eサーモジエンティック 玄々化学工業株式会社 株式会社ペルニクス

※11月13日11:30-11:50で予定していた、DELE株式会社「データ消去はSDGsだ」は中止となりました

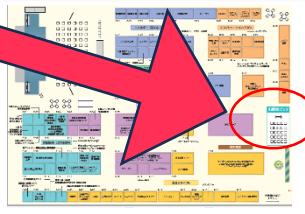


前回からの改善ポイント

前回（第17回）



今回（第18回）



- 来場した方の目につきやすい場所として、位置を入口付近に変更



- 床に赤いカーペットを敷き、看板の文字やサイズを大きくすることで、より会場が目立つように変更
- 演台にテーマであるサーキュラーエコノミーを意識した未利用資材を使用



出展者からは、「ピッチが動員員数が多く、出てよかったです。」「ピッチを通じて社のビジネスに関心を持っていただいた。」など高評価をいただきました。

特別企画「CYCLE」



ホスト企業×学生×地域企業で描く、
サーキュラーエコノミーの未来

実施結果

- ◎聴講者数 **43名**
- ◎ホスト企業との面談 **28件**
- ◎学生アイデア **12件**

CYCLE とは … ホスト企業 × 学生 × 地域企業 による新事業創出プログラム

ホスト企業のサーキュラーエコノミーに関するニーズに対して、学生がアイデアを立案し、アイデア発表を聴講した地域企業が共創パートナー*となってホスト企業・学生と共に新事業を生み出す企画

今年度からの

新企画

* 共創パートナー … ホスト企業との共創を検討しているホスト企業のニーズに合ったプロダクトや技術を保有する企業等

◆ 当日のプログラム（11月13日(木) 13:10～16:50）

第1部

学生による共創アイデアの発表

共創パートナーに向けて、5チーム13人の学生がサーキュラーエコノミーに資する共創アイデアの発表を行いました。



第2部

ホスト企業とのマッチング

第1部の学生アイデアの発表をきっかけとして、ホスト企業・学生と共創パートナーが具体的な共創に向けたマッチングを行いました。



キックオフ <8月>

ホスト企業から
サーキュラーエコノミーに
関するニーズを提示



実地調査 <9月>

ニーズの深掘りを目的とした
学生による実施調査等



中間発表 <10月>

学生によるアイデアの中間発表
企業からのフィードバック



成果報告会 <2月>

今年度の活動報告や
マッチング事例の紹介



CYCLE全体スケジュール

◆ ホスト企業の共創ニーズ・学生アイデア一覧

学生アイデア発表順

TOPPAN株式会社	学生アイデア	① 可食フィルムの可能性の追求 ② 分別・ゴミ箱システムのデジタル化 ③ 紙容器＜カートカン＞の改良と仕組み化
パッケージを「資源」に価値転換できるデザイン開発		
フクビ化学工業株式会社	学生アイデア	① 塩ビクロス廃材アップサイクル製品の開発・販売 ② 環境配慮建材の魅力を広げる共創プロジェクト
独自の環境配慮型商品認証制度「Fukuvalue」の更なる活用		
ワタミ株式会社	学生アイデア	① 日常の中でロスを実感できる仕組みを強化 ② 次世代に向けた食育・環境教育 ③ 循環 × セーフティネット（余剰食材で食事提供支援）
食品ロス対策に関する普及啓発 ／ 食品リサイクルにおける収集運搬の効率化		
株式会社川崎フロンターレ	学生アイデア	① サポーターが「楽しい」から分別する仕組みづくりを実現 ② 素材や容器など根本から見直し
資源循環できるゴミの分別促進		
株式会社JEPLAN	学生アイデア	① 体験型ワークショップによる共感の創出 ② 自分が出した服が“次に生まれ変わる姿”を追えるアプリ体験
サーキュラーエコノミーを文化として根付かせるムーブメントの創出		

市立高等学校との連携

◎来場した学生 **102名**

市立川崎総合科学高等学校 電子機械科2年

環境教育を通じて 将来の進路を考える

神奈川トヨタ自動車株式会社、株式会社ゼネラル（旧社名：株式会社富士通ゼネラル）の2社から、現場での経験や職場の様子などについてお話をいただくことで、将来の進路を考えるきっかけづくりを行いました。講義後には展示会場も見学し、最新の環境技術に触れました。



市立川崎高等学校 理系クラス2,3年

化学の学習内容と 実社会の結びつきを知る

日本乳化剤株式会社、株式会社ヘミセルロース、株式会社エノアの3社から、化学の学習内容に絡めて製品・サービスの紹介を行いました。



「有機化合物分野」、「天然高分子化合物分野」、「水素・電気分解の分野」の3分野に渡り実社会での活用事例を学びました。



市立橋高等学校 2,3年

課題への取組結果の発表を通じて、成長する機会を得る

特別企画「CYCLE」の場で「総合的な探究の時間」の成果発表を行いました。同校の「総合的な探究の時間」では、川崎市のプラスチック資源循環を目指す「かわさきプラスチック循環プロジェクト」（愛称：かわプラス）の参画事業者が抱える課題を調査し、資源循環をより活性化するための解決策を考案するプログラムを行っています。

今回は、川崎未来エナジー株式会社と株式会社川崎フロンターレについて研究した2班の生徒が、普段経験しない場で発表を行い、将来に向けた成長の機会となりました。



特別展示

展示会場入口近くの特設展示スペースでは、今回の展示会のテーマである「**サーキュラーエコノミー**」を象徴するエリアとして、**未利用資材や資源循環に関連した技術・サービス**を展示しました。



来場者の80%近くが
「とても良かった」「良かった」と回答



“POINT”



建築工事の余剰材を装飾に利用



使わなくなった素材に命を吹き込む
Design Upcycle

株式会社SKLO



微生物を活用した資源循環型街づくり
-ちとせバイオエボリューションディストリクト-
株式会社ちとせ研究所



服の資源循環
株式会社JEPLAN



川崎市内産のユズやミカンを使用したアロマ製品
株式会社ノンバーバル



お箸でつなぐ、循環の未来
使用済み割り箸のアップサイクル製品
ChopValue Manufacturing Japan株式会社



使用した製品を回収して改めて製品にする
サーキュラーエコノミー
サイボーグ株式会社



-バイオプラスチック製品の展示-
株式会社ペッカーゲンジ

国際関連企画①

デレゲート・プログラム（投資担当官招へい）

国連工業開発機関（UNIDO）の協力のもと、自国における環境分野の課題解決、技術移転を目的とした開発途上国・新興国の政府関係者を招へいし、出展者ピッチ会場における講演、ブース内ツアー、マッチングブースでの面談、会期翌日の視察を通じて参加者の海外展開を支援しました。

マッチング数はこれまで本プログラムを行った中で最多の25件となりました。



ゲストによるご講演（出展者ピッチ会場内）



希望者とのマッチング

◎ ゲストとのマッチング **25件**

＜協力＞
国連工業開発機関（UNIDO）



会期翌日の視察の様子

■ ■ ■ 今回御来日いただいたゲストからのメッセージ（会期1日目 ビジネス交流会において）



▶タイ政府東部経済回廊事務局（EECO）バイオ・循環型・グリーン経済推進部 部長 アンストーン・ワサン氏

タイ東部経済回廊の重点産業への投資を推進するため、川崎国際環境技術展に集まる幅広い分野の日本企業と交流できることを期待しています。



▶マレーシア・セベランプライ市議会 技術・政策コンプライアンス局 局長補佐 モハマド ハズレン モハマド ザヒア氏

川崎市が示してきた革新性と環境先進都市としての取り組みは、私たちにとって常に大きな刺激となっていました。これからも互いに学び合い、市民にとってよりスマートな、より良い未来の実現に向けて共に取り組んでいきましょう。



▶マレーシア・セベランプライ市議会都市サービス担当局 局長補佐 モハマド ナイーム モハマド アリ氏

セベランプライ市は、廃棄物回収、地域型のコンポスト、そしてスマート清掃技術など、実践的なプロジェクトを通じて、循環型経済の推進に取り組んでいます。技術提供者や自治体の皆さまとお会いし、パイロットプロジェクトや知識について、意見交換できることを楽しみにしています。

駐日大使館向け視察ツアー

国連工業開発機関（UNIDO）の協力のもと、日本の環境分野の企業や技術を視察することを目的とした会場ツアーを開催しました。今回のツアーには、アフリカやアジア、中南米、中東など35か国の大使館から、大使・臨時大使9人を含む48名の外交官の皆様に御来場いただき、3グループに分かれて計21社の出展ブースを訪問、意見交換を行いました。



参加者による記念撮影



展示会場内の視察の様子

◎ 参加大使館関係者数 **35か国48名**

＜協力＞
国連工業開発機関（UNIDO）



国際関連企画②

Kawasaki Hydrogen Connect 「川崎でつながる水素の未来」

11月12日（水）

日本貿易振興機構（JETRO）協力のもと、欧洲の水素技術企業4社を川崎に招へいし、本市臨海部企業等とのマッチングやピッチイベントを通じて、液体水素、ブルー水素、CCUSなどの革新的技術を紹介し、日本企業との協業や川崎市との連携を通じて、水素社会および脱炭素社会の実現に向けた可能性を探りました。



◎参加企業数 4社

◎イベント等参加者数 37名



参加企業一覧

企業名（国名）	事業内容
Royal Vopak（オランダ）	水素やアンモニア等次世代エネルギーキャリアの安定供給に向けた物流・貯蔵インフラの構築
Ecolog（オランダ）	極低温液化水素（LH2）・液化二酸化炭素（LCO2）の海上輸送およびターミナルインフラの設計・建設・運営
Progressive Energy（イギリス）	水素および二酸化炭素回収を含む低炭素エネルギー分野におけるプロジェクト開発およびコンサルティング
Johnson Matthey（イギリス）	CCS対応水素等の低炭素燃料やサステナブルメタノール等の再生可能化学品の製造等による脱炭素化支援

JICAツアー（研修員向け出展ブースツアー）

11月14日（木）

国際協力機構（JICA）のプログラムにより本邦大学院留学中の研修員を招へいして出展ブースツアーを実施しました。



◎参加研修員数 4名（ブルキナファソ、ガーナ、南スーダン、ミャンマー）

川崎市職員「グローバルセンター」の活用

川崎市では、外国語が話せる市職員を「グローバルセンター」として登録し、川崎市が実施する国際関連イベント等における関係者のサポートを通じて、グローバル人材の能力向上を目指しています。今回の国際環境技術展では、5名の英語サポート者が展示会内の各企画で活動を実施しました。



ビジネスマッチングの成果

会期2日間を通じたビジネスマッチング（※1）

（※1）出展者アンケート（延べ数）、その他特別企画実施結果の合計

（※2）名刺交換枚数のうち、今後の商談につながる可能性のある数

■ 面談実施件数	■ 商談成立数
298件	60件
(320件)	(91件)

■ 名刺交換枚数	■ ビジネスマッチング数（※2）
4336枚 (5314枚)	794件 (805件)

■ ブース訪問者数
8085名
(7525名)

数字の下の（）は前年（17回）数値

ビジネスマッチング好事例ピックアップ

■ Case 1 出展者（中小企業）×来場者

- 株式会社ユニオン産業
小ロットから、様々な循環素材を用いた再生品を製造。金型を有しているため早期の生産が可能。



- 株式会社BPLab
回収した繊維をペレット化したものについて、再生品を製造できるパートナーを模索中。



- 循環材料と金型との情報交換を継続しながら、試作品を検討する。

■ Case 2 出展者（中小企業）×出展者（大手企業）

- ニイガタ株式会社
研究実装段階におけるプロトタイプの製造、実証化支援、技術の掘り下げによる伴走支援を実施。



- 株式会社IHI
研究開発のニーズに沿った概念装置の開発ができるパートナーを模索中。



- シーズ・ニーズが一致したため、ニイガタ社の装置関連担当者と、IHI社の研究開発担当者のマッチングを別途実施検討中。

■ Case 3 海外からのゲスト×出展者（スタートアップ）

- タイ東部経済回廊
観光ホテルが多いタイ離島地域において、生ごみの廃棄量が多いことが問題となっている。



- AC Biode株式会社
自社の触媒技術を応用した、食品残渣や汚泥等有機廃棄物を水素や燃料用素材に分解する技術を提供。



- AC Biode社の資料を提供し、タイ東部経済回廊事務局から関連企業（リゾート系）を紹介予定。

第17回（前回）のビジネスマッチングから始まった事業

第17回川崎国際環境技術展で生まれた出会いから、具体的な連携に発展している事例を紹介します。

株式会社ノンバーバル

前回、同じく環境技術展に出展した中央大学商学院の学生と環境技術展をきっかけに交流を開始し、川崎市内のイベントの共同出展や、共同での蒸留作業を実施しています。



株式会社アリスミ21

前回、環境技術展にご来場された株式会社メディパルホールディングスの子会社である株式会社メディセオと展示会後に連携に向けた協議を行い、「環境配慮型ストレッチフィルム」を導入するとともに、アリスミ21社が使用済みストレッチフィルムを回収する取組を開始しています。



出展者へのサポート

会期中

マッチングブースの利用

展示会場内の出展ブースとは別に、関心のある方同士での商談や、協業に向けた面談のできるマッチングブースを設置し、事前にマッチングシステムで予約した面談や、当日来場された方との面談等、多くの活発な交流が実施されました。



- ◎ マッチングブースでの面談実施件数 **82件**

会期中

ビジネス交流会

出展者同士、及び出展者と海外からの来賓や協賛者との交流促進を目的として、会期1日目11月12日（水）夜に、飲食を交えた交流会（ビジネス交流会）を開催しました。

- ◎ 参加人数 **150名**
 - ◎ 参加企業・団体数 **81者**



会期前

マッチングシステム（SUITZ）の利用

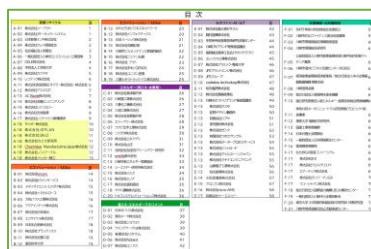
開催に先立ち、事前に出展者と来場者、出展者同士がオンライン上でコミュニケーションをとれるマッチングシステム（SUITz）を活用し、関心のある方同士でのやり取りや、会期当日の面談予約を行いました。



会期前

出展者一覧の作成

- 出展者の展示製品・サービスに関する情報、マッチング希望等について、来場者が一覧できるように、ホームページの体裁と同じまま、出展者一覧を作成しました。
 - 海外関係者や来場者を意識し、日本語と同内容の英語版のリーフレットを作成することで、出展者とのマッチング促進を図りました。



出展者インタビュー

ニイガタ株式会社
技術営業グループ 中川 悠 様

■ 本展の出展を通じた感想を教えてください。

- 出展経験だけではなく来場者として参加した経験もなかったため、まっさらな状態で臨みましたが、まずは来場者数の多さに驚きました。また、川崎市が主催していることもあり、産官学がバランスよく参加されている点が非常に印象的でした。オープニングセレモニーから、水素や再エネ分野に本気で取り組まれていることを強く感じました。



■ 特に、展示会の中で印象に残ったことは。

- ブースでは、テーラークエット装置に多くの方が興味を持ってくださいり、大学や企業の研究者の皆様からさまざまなお質問をいただきました。既にお取引のある業界だけでなく、これまで接点のなかったメーカーの方とも名刺交換ができ、新たなつながりを得ることができました。すぐに案件化するものではありませんが、今後のお打ち合わせにつながりそうなお話も複数いただき、非常に有意義な機会となりました。

■ 今後の展望について教えてください。

- 今後は、エネルギー・再生可能エネルギー分野での取り組みをさらに強化しながら、お客様の研究開発課題をサポートできる範囲を広げていきたいと考えております。また、川崎市に設置しているサテライトの活用により、地域発の取り組みに参加できる可能性にも期待しております。初出展ながら多くの出会いと気づきを得ることができ、今後の事業展開に弾みとなる貴重な経験となりました。

日本新聞インキ株式会社
技術部 相田 祐子 様

■ 本展の出展を通じた感想を教えてください。

- 想定を超える多くの方にブースへお立ち寄りいただき、ヨシを活用した当社の取り組みを幅広く知っていただけたことは、大きな手応えとなりました。マッチングブースでもアパレル企業様や海外向けECを展開する企業様などからお声がけをいただき、当社の技術や課題をご説明する中で、「こういう活用方法はどうか」といった具体的なご提案もいただきました。展示会後に改めてお打ち合わせをしたいというお話もあり、今後につながる貴重なご縁となりました。



■ 特に、展示会の中で印象に残ったことは。

- 来場者の方々からは特に、「ヨシがこんな形で使えるとは知らなかった」という驚きの声が多く寄せられました。ヨシを51%配合したバイオプラスチックのお箸は、耐久性があり食洗機も使用できる実用的な製品で、マルシェなどの販売会でも人気の商品です。また、タオル・ストール・ふきん、さらにはヨシのエキスを配合したハンドクリームなど、ヨシ由来の製品の幅広さにも関心を持っていただきました。

■ 今後の展望について教えてください。

- 今後は、三重県以外の地域でもヨシの加工・製品化ができる仕組みを広げ、採れた地域で製造し、そこで雇用が生まれ、地域ブランドとして発信できるようなモデルを実現したいと考えております。ヨシは日本全国の水辺に生えており、地産地消の資源として大きな可能性があります。この素材を活かしながら、環境に寄り添う事業をさらに発展させていきたいと思っています。

出展者インタビュー

株式会社 プランテックス
執行役員 浦元 淳也 様

■ 本展の出展を通じた感想を教えてください。

- 会場には多くの企業が参加されており、植物工場に対する関心の高さを強く感じました。実態を知りたいという来場者が多く、食糧危機や食糧安全保障といった社会課題への問題意識が広がっていることを、二日間を通して実感いたしました。



■ 特に、展示会の中で印象に残ったことは。

- 初日から複数の企業様が具体的な協業をご検討ください、一部ではNDA（秘密保持契約）を締結し、詳細な議論に進むケースも生まれました。製造業の企業様が多く、「自社で植物工場を所有し、生産者として事業を行いたい」というご相談をいただくなど、これまでにない広がりを感じています。当社の植物工場は、設備に加えて運営マニュアル、人材教育、工場長育成などを含む「運営支援サービス」により、未経験の方でも運営できるモデルになっております。また、植物工場は地域の雇用創出にも寄与しています。現在稼働している土浦の工場では、高齢者の方々が活躍されており、定着率も高いことが特徴です。安全で衛生的な環境で作業ができるため、シニア世代の就労機会としても非常に相性が良いと感じています。

■ 今後の展望について教えてください。

- 今後は、日本各地のニーズに応じて植物工場を展開し、地域で安定した食糧供給を実現していきたいと考えております。さらに、川崎市とのイベント連携などを通じ、植物工場で育てた野菜の美味しさ・安全性をより多くの方々に知っていただく取り組みも進めてまいります。

POINT

今回会場でインバウンドを行った3社を含む、市内企業10社に対して展示する製品・サービスやマッチング希望に関する会期前インバウンドの記事を「addlight journal」に掲載しています。
(上記10社の情報は「注目の出展企業」(右下)としてホームページで案内を行ってきました)

ニイガタ株式会社
経営戦略部長 原藤 真也、技術部長 中川 悅

研究開発院にて新規事業を展開する中、大学や企業の研究者たちが協力する形態でのサポート。
技術の設計・開発から販売・施工、プロジェクトマネジメントまで一貫して提供し、「世界一小さな農業」に貢献する存在を目指しています。

Run With
Researchers
NIIGATA

研究者とともに「前例のない挑戦」に伴走する
ニイガタ

—川崎国際環境技術展で出展される製品・サービスについて教えてください。
当社は「研究開発院サービス」を行っています。研究者用の新しい試験や技術開発を取り扱う研究の試験や手法では実現できない課題が多々あります。ニイガタは、そのような課題に取り組むことで実現可能な方法の開拓、即ちによる課題解決方法の開拓や、プロジェクト開拓への貢献を目指す。研究開拓用のサービスメニューと一緒にします。展示会では、これまで手がけってきた具体的な事例を(手元がサンプルで見ていただける)テキストです。

日本新聞インキ株式会社
生産本部次長 奥島 直也、技術部長 石原 宏志、技術部相田 祐子

新聞インキの専門メーカーとして印刷の課題を持つ、新聞需要減少に対応した新たな技術を開発。印刷の技術と技術者の開拓を組み合わせた総合工芸システムを提供し、持続可能な社会実現に取り組んでいます。国内外で印刷技術に貢献し、技術開拓を実現に。安心して販売開始と開拓開拓を実現させることができます」とコメントしている。

<http://www.jpnink.co.jp/>

植物の成長と栽培環境の制御技術で「次世代型植物工場」を実現

「植物工場社会実現」を目指し、独自の育苗技術を開発。植物の成長と栽培環境の制御技術を組み合わせた総合工芸システムを提供し、持続可能な社会実現に取り組んでいます。国内外で印刷技術に貢献し、技術開拓を実現に。安心して販売開始と開拓開拓を実現させることができます」とコメントしている。

<http://www.jpnink.co.jp/>

ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

—川崎国際環境技術展で出展される製品・サービスについて教えてください。
当社は「人・社会・地球の3E」について取り組んでいます。本祭は、光・温度・湿度・CO₂濃度といった気候環境をセンサーで同時に二ケタで測定・監視を行った総合成長制御システム「PLANTX Platform」(以下、PLANTX Platformと呼ぶ)による栽培技術に基づき自動販賣機です。これにより栽培環境に合わせ、都合のいい栽培技術など多様な立地条件下での安定した耕種生産を可能にします。

20種類の環境パラメータ
LIGHT
TEMPERATURE
HUMIDITY
CO₂ CONCENTRATION
PH
EC
Culture Machine
Temperature
Humidity
CO₂ Control
Watering
Fertilizer
Plant Growth Factor
Drip Irrigation
Root Zone Monitoring
根元監査
根元監査

株式会社 プランテックス
代表取締役社長 山田耕貴、執行役員 浦元 淳也

「植物工場社会実現」を目指し、独自の育苗技術を開発。植物の成長と栽培環境の制御技術を組み合わせた総合工芸システムを提供し、持続可能な社会実現に取り組んでいます。国内外で印刷技術に貢献し、技術開拓を実現に。安心して販売開始と開拓開拓を実現させることができます」とコメントしている。

<http://www.jpnink.co.jp/>

—川崎国際環境技術展で出展される製品・サービスについて教えてください。
当社は、水素による燃焼する簡単・安全を用いた「ヨシカワヒート」を紹介します。新規イノベーションとして得た課題を解決し、量産化が難しかった技術を用いて、エネルギー・エネルギーの循環を実現しました。タブレット・スマートフォン・PC、各種ソリューションを用いて、エネルギーの循環を実現。水素エネルギーを販売、販売して、水素エネルギーを循環させる仕組みとして基盤としています。

20種類の環境パラメータ
LIGHT
TEMPERATURE
HUMIDITY
CO₂ CONCENTRATION
PH
EC
Culture Machine
Temperature
Humidity
CO₂ Control
Watering
Fertilizer
Plant Growth Factor
Drip Irrigation
Root Zone Monitoring
根元監査
根元監査

川崎国際環境技術展
The 18th Kawasaki International Eco-Tech Fair

注目出展企業紹介

01. 日本新聞インキ株式会社
02. ニイガタ株式会社
03. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

04. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

05. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

06. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

07. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

08. ニイガタの技術で、世界一小さな農業を実現する
ニイガタ

—川崎国際環境技術展で出展される製品・サービスについて教えてください。
当社は「人・社会・地球の3E」について取り組んでいます。本祭は、光・温度・湿度・CO₂濃度といった気候環境をセンサーで同時に二ケタで測定・監視を行った総合成長制御システム「PLANTX Platform」(以下、PLANTX Platformと呼ぶ)による栽培技術に基づき自動販賣機です。これにより栽培環境に合わせ、都合のいい栽培技術など多様な立地条件下での安定した耕種生産を可能にします。

—川崎国際環境技術展で出展される製品・サービスについて教えてください。
当社は、水素による燃焼する簡単・安全を用いた「ヨシカワヒート」を紹介します。新規イノベーションとして得た課題を解決し、量産化が難しかった技術を用いて、エネルギー・エネルギーの循環を実現しました。タブレット・スマートフォン・PC、各種ソリューションを用いて、エネルギーの循環を実現。水素エネルギーを販売、販売して、水素エネルギーを循環させる仕組みとして基盤としています。

20種類の環境パラメータ
LIGHT
TEMPERATURE
HUMIDITY
CO₂ CONCENTRATION
PH
EC
Culture Machine
Temperature
Humidity
CO₂ Control
Watering
Fertilizer
Plant Growth Factor
Drip Irrigation
Root Zone Monitoring
根元監査
根元監査

“addlight journal”的記事はこちらからご覧いただけます。



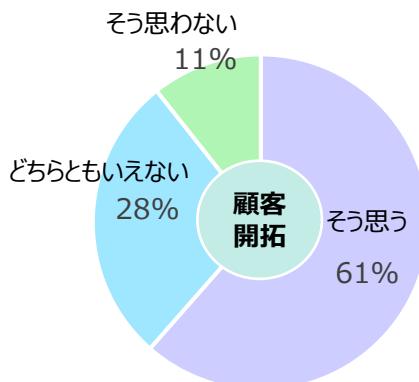
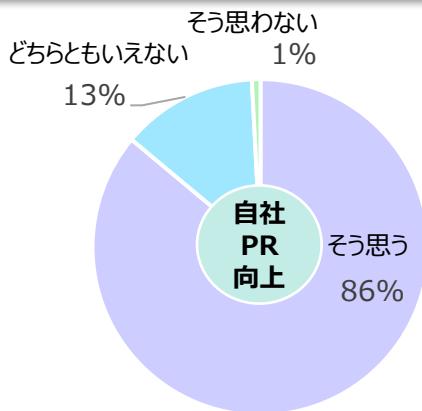
出展者アンケート

アンケート取得数は **122件**、全出展者（128者（※））の約 95.3%

アンケート実施期間：令和7年11月14日～12月22日

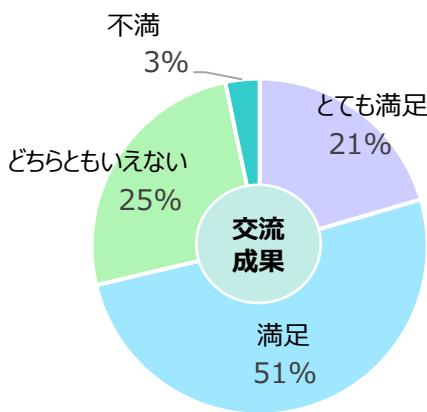
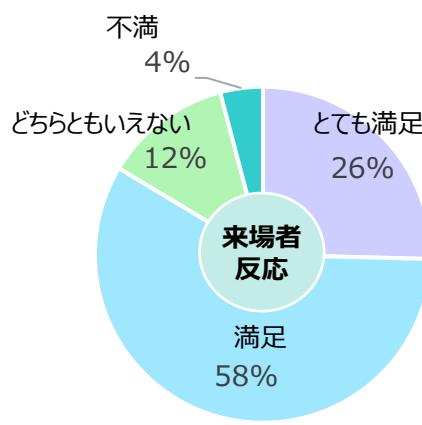
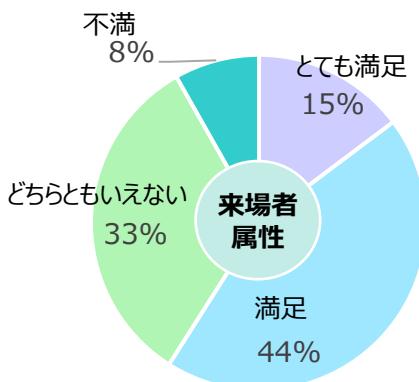
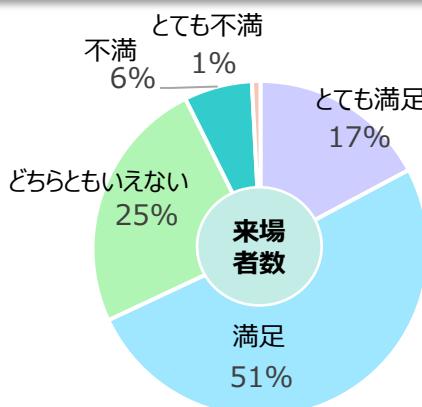
※1部共同出展の出展者については延べ企業・団体数でカウント

出展を通じた効果



自社PRの向上について90%近くの出展者が効果を感じており、顧客開拓については60%の出展者が新規開拓に効果があったと感じています。

出展を通じた満足度



特に、来場者の反応や交流の成果について70%以上の出展者が「とても満足」「満足」に回答しており、多くの項目で前回より「とても満足」の割合が向上しています。

出展者アンケート

ビジネスマッチングツールに対する印象

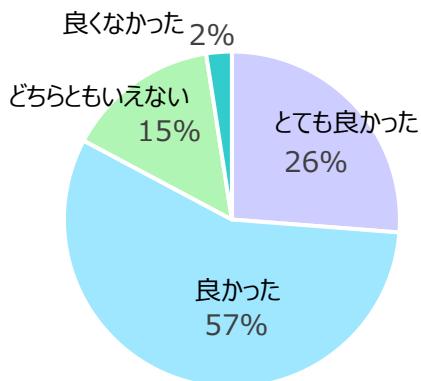
(複数選択、%)

マッチングシステム（SUITz）	5	18	50	6	2	19
マッチングブース	4	23	44	2		27
ビジネス交流会	16	27	35			22
出展者ピッチ	7	38	30			25
駐日大使館関係者ツアー	6	16	47	1	1	29
ASEAN政府関係者との面談	6	15	48	1	1	29
在日研修員ツアー	4	8	51	1		35
Kawasaki Hydrogen Connect	3	8	53	2		34
特別企画「CYCLE」	8	12	48	2		30

■とても良かった ■良かった ■どちらともいえない ■良くなかった ■全く良くなかった ■利用していない

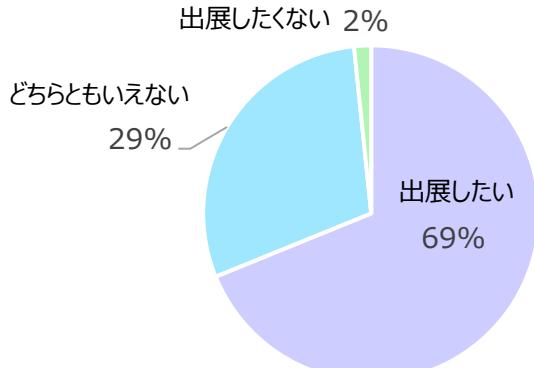
今回実施したビジネスマッチングツールの中では、特に出展者ピッチ（P11）や、
ビジネス交流会（P18）について「とても良かった」「良かった」の割合が高くなっています。

総合的な評価



「とても良かった」の割合について、26%となり、前回（20%）から約6%向上し、近年高い評価を維持しています。

次回の出展意向



前回の出展者アンケート実施時（出展したい：67%）と同程度の、全体のおよそ3分の2の出展者から次回の出展希望をいただいています。

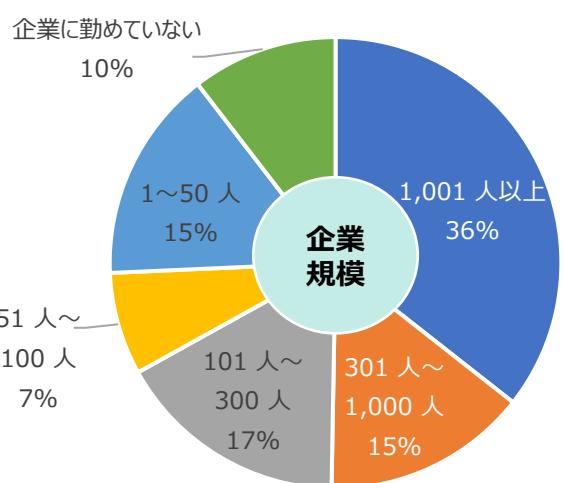
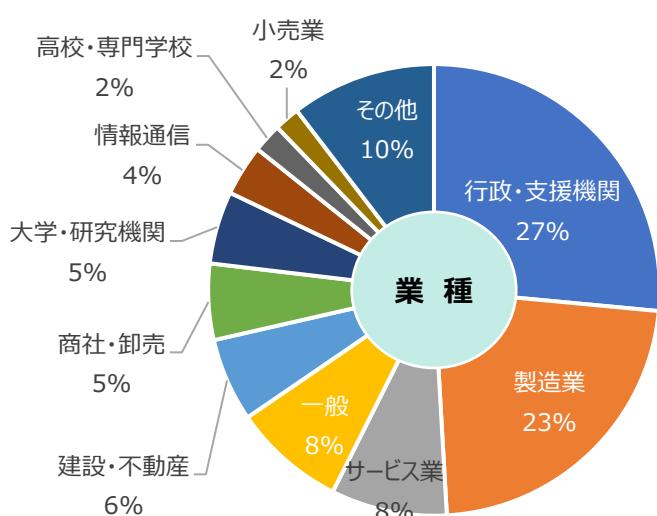
来場者アンケート

アンケート取得数は **385 件**、全参加者（4,400人）の約 8.8 %

- ・ 本技術展開催中（11月12日～13日）のアンケート取得数は **228 件**
- ・ 会期後（11月17日～28日）のアンケート取得件数は **157 件**、内 140 件（89%）はPCからの入力

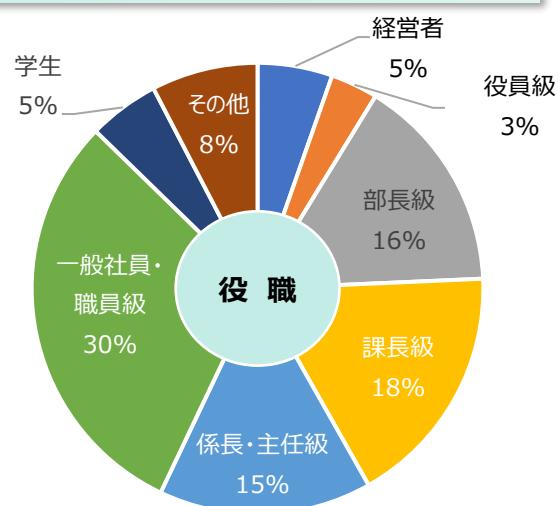
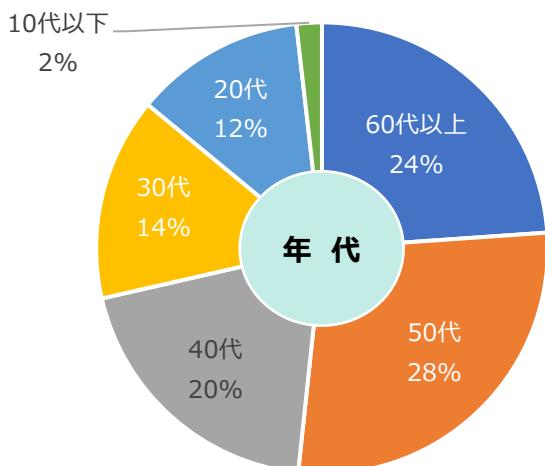
①来場者の属性

業種と企業規模



業種では、行政・支援機関の来場が最も多く、
企業規模では従業員数300人以上の企業に属する来場者が半数以上占めています。

年代と役職

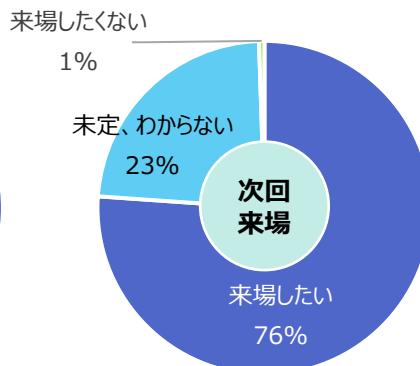
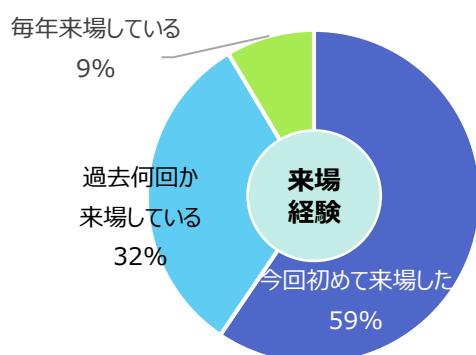


年代では50代以上が最も多く、10代・20代の割合も増加傾向にあります。
役職では課長級以上の来場が4割以上占めています。

来場者アンケート

②来場者の動向

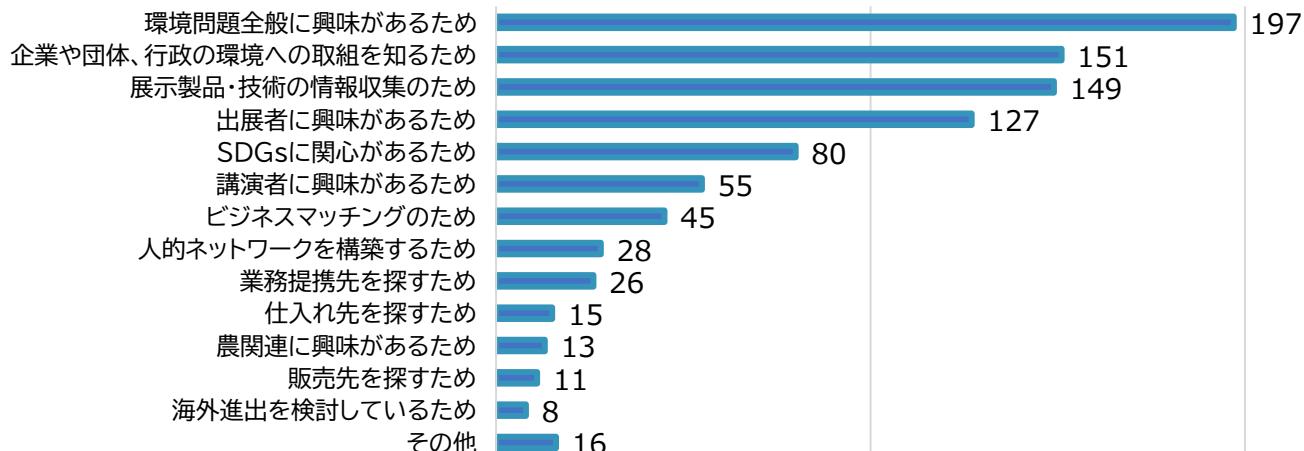
来場回数と次回の来場意向



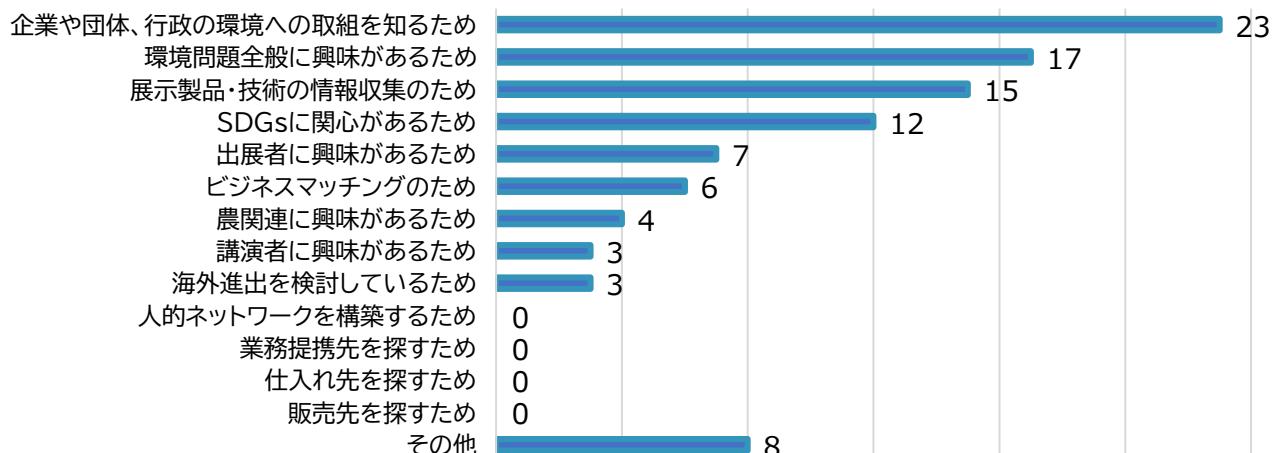
来場者のうち、59%が今回初めて来場されました。また、76%が次回の来場を希望しています。

来場目的

<全来場者集計 ※複数選択>



<20代以下の来場者集計 ※複数選択>

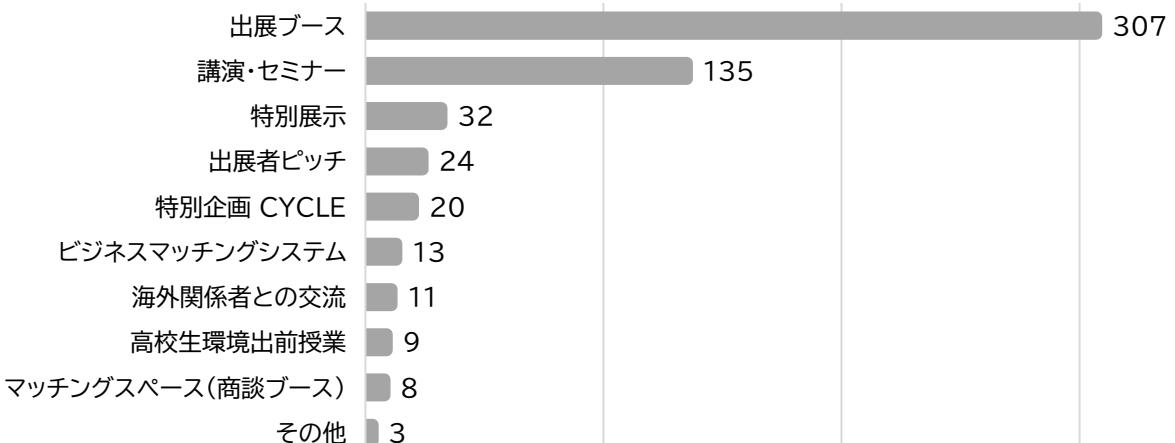


来場目的について、全来場者では「環境問題全般に興味があるため」が最も多い一方、20代以下の来場者に限ると「環境問題全般に興味があるため」を超えて、「企業や団体、行政の環境への取り組みを知るため」の回答数が多く、具体的な取り組みへの関心が高いことが伺えます。

来場者アンケート

魅力的だと感じたコンテンツ

※複数選択可

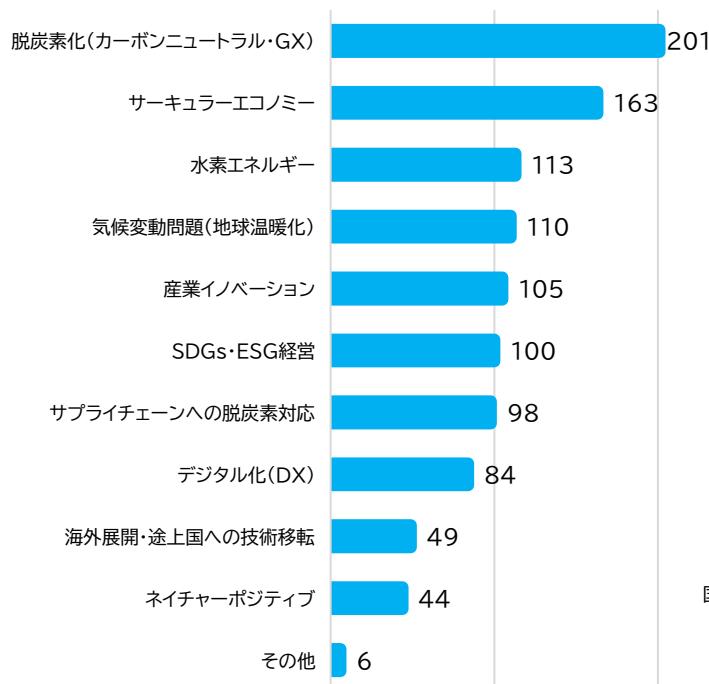


全回答者（385名）の内、およそ80%に当たる307名が出展ブースに対して魅力的だったと感じています。

③次回の開催に向けて

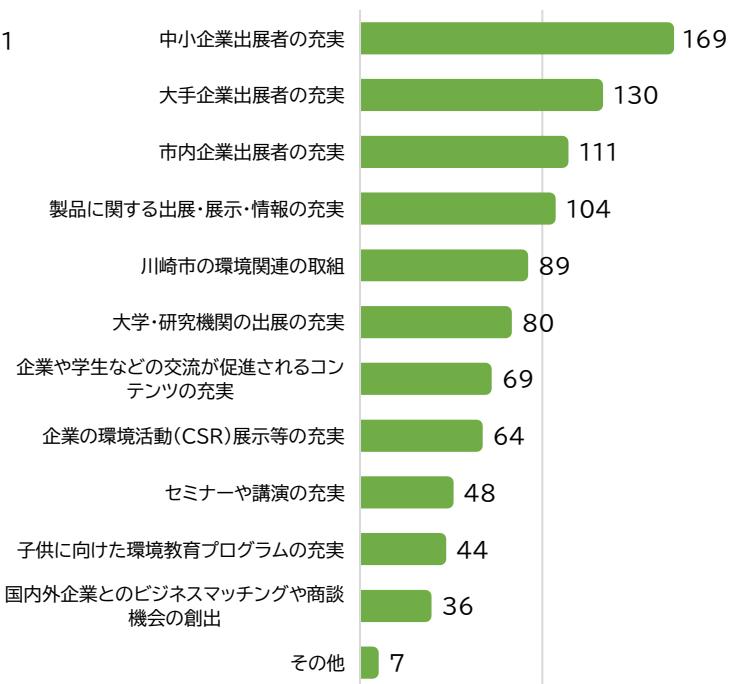
期待する次回テーマ

※複数選択可



今後充実してほしい内容

※複数選択可



次回のテーマについて、今回のテーマ「サーキュラーエコノミー」は依然関心の高さが伺えますが、それを超えて「脱炭素化」への期待が最も高く、その他様々な分野に期待をいただいております。

また、今後充実してほしい内容として「中小企業出展者の充実」をあげた回答が最も多くなっています。

出展者・来場者の声

出展者

異業種の方々と交流でき、一般の方々へ弊社の取り組み等を紹介できたことが大変有意義でした

特別セッションの内容が良かったです。**ビジネスマッチングの成功に至る経緯や関わった人の想いなどを聴けた**のは、今後のビジネスにおいて参考になりました。

他自治体の役所の方、地域団体の方々との交流があるとよりよいと思いました。

今回サーキュラーエコノミーがテーマにあり、**テーマに興味を持った来場者が多かったです。**

会場全体のレイアウト等が改善され、より**交流が促進される展示会となる**工夫がなされていた様に感じました。

以前出展した時よりも**川崎市と関わりができる**ため、興味を持つてもらえる確率が上がったと思います。

お昼の時間に来場者が少ないので、その時間に集客できる企画があると嬉しいです。



来場者

大変大盛況で凄かったです。次回はセミナーなども時間を、もっと確保して参加したいです。

特別展示のコーナーは**具体的な物品が多数展示**され、理解しやすかったです。

コンパクトにまとまっていて、効率よく見学することができました。**出展者のやる気を感じられました。**

出展ブースの**ジャンルが充実していて**良かったです。

環境保護というのに色々なアプローチがあることに気がついたことが、一番の収穫でした。

毎年新しい技術や提案を見ることを楽しみにしています。



広報活動

TV・ラジオ放送

・テレビ神奈川（TV）

11月1日放送：「LOVEかわさき」にて開催告知・出展者紹介
(株式会社プランテックス)

▼見逃し配信サイトURL

https://www.tvk-yokohama.com/lovekawasaki/2025/arch_111-121.php
11月12日放送：tvkニュース



見逃し配信サイト
二次元コード



11月1日放送 LOVEかわさき撮影風景

・FMヨコハマ（ラジオ）

11月2日放送：「COLORFUL KAWASAKI」にて開催告知

・かわさきFM（ラジオ）

10月9日放送：「かわF RADIO SHOWクジヒル」にて開催告知

11月6日放送：「かわさき ホット☆スタジオ」にて開催告知・出展者紹介
(ChopValue Manufacturing Japan株式会社)

11月12日放送：「かわF RADIO SHOWクジヒル」にて会場から生中継・出展者
インタビュー

(東京メータ株式会社、協同組合高津工友会、株式会社近藤工芸)



11月12日放送 かわさきFM生中継風景
東京メータ株式会社／協同組合高津工友会／株式会社近藤工芸

※敬称略

広報活動

新聞広告・WEB広告・ラジオ広告

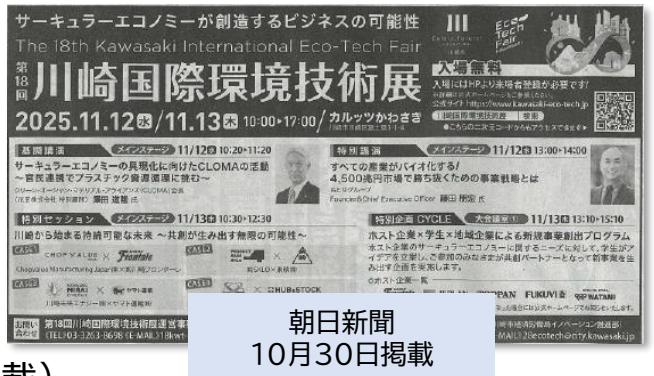
- ・産経新聞
(8月4日掲載) 全5段
- ・朝日新聞
(10月30日掲載) 半3段
- ・タウンニュースWEB広告
(10月28日～11月11日掲載)
- ・かわさきFMラジオ広告
(11月3日～11月9日放送)

記事掲載

- ・タウンニュース 川崎区・幸区版／中原区版／高津区版／宮前区版／多摩区版／麻生区版 (10月17日掲載)
- ・新エネルギー新聞 (12月1日掲載)
- ・タウンニュース川崎区・幸区版 (12月5日掲載)



産経新聞
8月4日掲載



朝日新聞
10月30日掲載



タウンニュース
川崎区・幸区版／中原区版／
高津区版／宮前区版／
多摩区版／麻生区版
10月17日掲載



タウンニュース 川崎区・幸区版
12月5日掲載

メールマガジンの配信

- ・実行委員会参加機関によるメールマガジンの配信
(川崎商工会議所／川崎市産業振興財団／経済産業省 関東経済産業局 等)
- ・川崎市関連部署によるメールマガジンの配信
(総務企画局／経済労働局／環境局／臨海部国際戦略本部／上下水道局 等)
- ・他自治体・関連組織等によるメールマガジンの配信

広報活動

会報誌への掲載

- ・市政だより：6月号・10月号
- ・環境情報：6月号・10月号・11月号
- ・かわさき労働情報：7月号・11月号
- ・産業情報かわさき（川崎市産業振興財団機関誌）
：7月号・10月号・11月号
- ・かいぎしょ（川崎商工会議所機関誌）：11月号



かわさき労働情報11月号



かいぎしょ11月号

~サーキュラーエコノミーが創造するビジネスの可能性~

第18回川崎国際環境技術展

Kawasaki International Eco-Tech Fair

9割以上の出展者が実績を実現!!

出展企業さまが今まで培ってきた豊富な知識や技術を内外に発信する
ため、また、出展企業間の取引や販路開拓を目的としたマッチング会場も設けました。

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

◆会期時間◆ 2025年11月12日(水)～11月13日(木)

※カルツッカわさき (川崎市川崎区土手1-1-4)

◆出展料 無料

◆出展者登録 URL

◆出展申込方法

ホームページ

(株)川崎国際環境技術展運営事務局

http://kawasaki-ecotech.jp

E-mail : info@kawasaki-ecotech.jp

LINE

産業情報かわさき7月号

2025
11
月号

産業情報
かわさき

https://kawasaki-ecotech.jp/jp/news/industry/report.html

~サーキュラーエコノミーが創造する
ビジネスの可能性~

The 18th Kawasaki International Eco-Tech Fair

川崎国際環境技術展

Eco-Tech Fair

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

産業情報かわさき11月号

デジタルサイネージの活用

- | | |
|------------------|-------------|
| ・アゼリアビジョン | ・川崎市役所本庁舎 |
| ・川崎駅河川情報表示版 | ・川崎区役所番号表示版 |
| ・川崎駅周辺広告塔 | ・かわさききたテラス |
| ・川崎駅北口通路 | ・AIRBIC |
| ・川崎市産業振興会館 | ・カルツッカわさき |
| ・川崎生命科学・環境研究センター | |

チラシ・ポスターの活用

- ・出展者、関係機関へ配布
- ・各所イベントにて配布
- ・広報誌や市内中小企業向け調査へチラシの同封

WEBサイトへの掲載

- ・「addlight journal」サイト内にて、出展者の
インタビュー記事を掲載
- ・「iPROS ものづくり」サイト内にて、特設サイトを
構築し、出展者情報を掲載

SNSの活用

- ・X
- ・Facebook
- ・Instagram

【インタビュー】第18回川崎国際環境技術展出展者紹介
Vol.1

addlight journal

サーキュラーエコノミーが創造する
ビジネスの可能性

川崎国際環境技術展

Eco-Tech Fair

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

addlight journal

【PR】川崎国際環境技術展

サーキュラーエコノミーが創造する
ビジネスの可能性

iPROS ものづくり

サーキュラーエコノミーが創造する
ビジネスの可能性

川崎国際環境技術展

Eco-Tech Fair

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

会場内は、最新の技術や製品を学びできるセミナー会場、会員による
出展者との意見交換会場など、様々な機能を備えています。

ぜひ多くの皆さまご来場いただき、川崎市を代表する最大手たな交流を実現
する所としてお待ちしております。

iPROS ものづくり

各種制作物

案内用チラシ (A4)



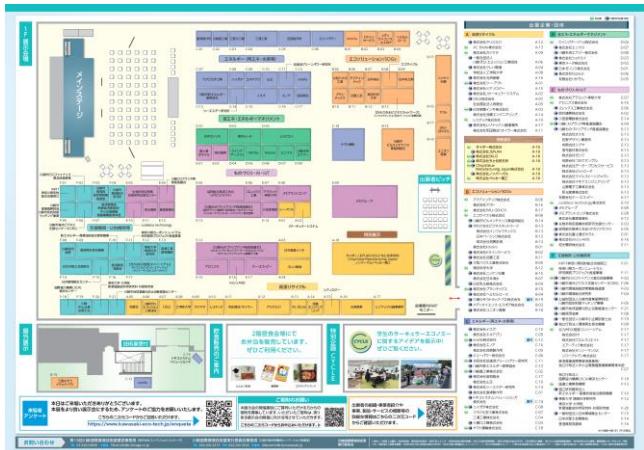
案内用ポスター (B2)



出展者募集リーフレット (A4×4ページ)



会場マップ (B3 4つ折り)



各種制作物

プロモーション動画



来場者募集中!

詳しくはホームページをご覧ください
<https://www.kawasaki-eco-tech.jp>

川崎国際環境技術展

検索

問い合わせ先 経済労働局イノベーション推進部
TEL : 044-200-2313 FAX : 044-200-3920

ホームページ

TOPページ



特別企画 CYCLEページ



注目の出展企業ページ



開催概要・出展者一覧・講演会/セミナー情報・特別企画・ビジネスマッチング他、来場者および出展者に向けた豊富な情報を掲載しました。

SNS

X



Facebook



Instagram



多くのご出展・ご協賛・ご来場をいただき、
誠にありがとうございました。



次回のご出展・ご来場もお待ちしています。



問い合わせ先

川崎市経済労働局イノベーション推進部

TEL:044-200-2335 E-mail : 28ecotech@city.kawasaki.jp